

結いだより

投資先の「いい会社」紹介

電気計測技術で電動化社会の
安心と発展を支える、いい会社

日置電機



マイファームの
TOKYO PRO Market への上場について

「結い 2101」運用報告会 一問一答 & 動画公開のご案内

投資先の「いい会社」紹介

HIOKI

「O」は単純な丸ではなく、楕円形をしています。これは、地球が卵を抱擁する姿をモチーフに、「ひと」を育み、新しいものを誕生させ、社会の発展に貢献するというイメージをデザインしたものです。

電気計測技術で電動化社会の安心と発展を支える、いい会社

日置電機 (長野県)

日置電機は電気計測器の開発から生産、販売、サービスまで一貫しておこなうメーカーです。電気自動車などあらゆるモノが電動化していく中で、同社の電気計測技術へのニーズが高まっているなか、独自のソリューションを通じて、社会の安心と発展に貢献しています。

特徴 共生

産業のマザーツール

電気計測器は、「産業のマザーツール」と呼ばれ、電子部品、自動車、インフラ、環境・新エネルギー分野など、広範囲の分野でかつ、研究開発、生産ライン、および保守サービスなどあらゆる場面で活用されています。



日置電機の電気計測器は下図の4つの製品群で構成されています。



自動試験装置

(電子回路基板や部品内臓基板の検査)



記録装置

(電気機器の開発や設備の異常監視)



電子測定器

(電子部品・バッテリーの検査)



現場測定器

(電気工事・設備の保守点検)

特に、脱炭素・カーボンニュートラル気運の高まりを背景に、リチウムイオン電池の検査用途で電子測定器の需要が拡大し、同社の成長を牽引しています。

豊富なラインナップを誇る日置電機の電気計測器の特徴は、安全かつ早く、高精度な測定ができることです。例えば、現場測定器では、独自の金属非接触電圧計測技術で測定の際のショートや感電による事故を回避し、作業員の高い安全性を確保しています。日置電機は、産業のマザーツールを提供する立場として、販売会社や販売店と協働した顧客密着型のソリューション営業をすすめ、その関係資本から創造される技術知識が産業界の安全性や信頼性を高める同社の製品開発の基盤となっています。



持続可能な社会をつくる ソリューションクリエイター

2020年12月に日置電機は「ビジョン2030」を発表しました。「ビジョン2030」は、持続可能な社会の実現に向けた「化石燃料から再生可能エネルギーへのエネルギー源転換」という大きな変革に対して、あらゆる産業の脱炭素化や電動化シフトを後押しするという日置電機の意味表明です。

ビジョン2030

ミッション

電気計測を通してお客様の
安全で有効なエネルギー活用を促進し、
社会の安心と発展に貢献する。

(2030年のありたい姿)

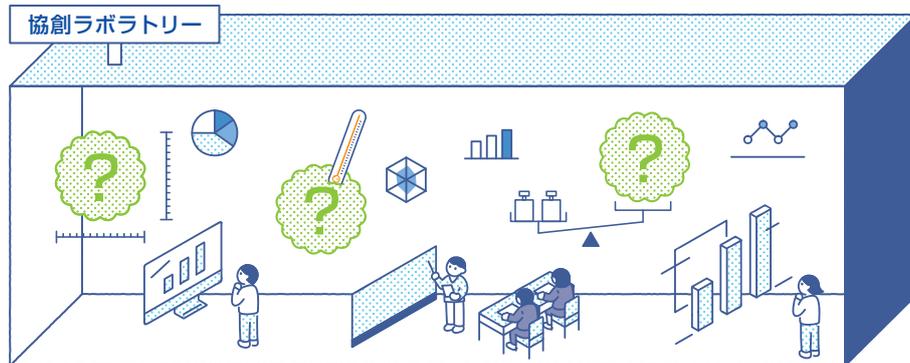
ビジョン

HIOKIは、業界のフロントランナーとして
「測る」を進化させ続け、
世界のお客様と共に
持続可能な社会をつくる
ソリューションクリエイターになる。

持続可能な社会をつくるうえで、あらゆるものが電気でも動く「電動化社会」に社会は変わりつつあります。例えば、太陽光や風力などのエネルギーが電気エネルギーとして電池に蓄積、放出されることによって電気自動車などの動力となります。電気をつくる、電気を電池に貯める、電池から電気を放出する、一連の過程で日置電機の電気計測技術が必要となります。▶

▷ 電動化社会が進展する中で、今まで測れなかったものを測定するニーズや新しい検査のニーズが出てくるでしょう。

日置電機では、新たな測定・検査基準を創出するために2023年3月に「協創ラボラトリー」を本社敷地内に開設しました。バッテリーや水素エネルギーなどを共同で顧客と研究し、新しい価値を生み出すことを目指しています。



「人間性の尊重」と「社会への貢献」

日置電機は、企業理念を軸にした理念経営で、ステークホルダーと高い信頼関係を構築しています。同社の企業理念は「人間性の尊重」と「社会への貢献」の2本柱です。

上田の本社工場「HIOKIフォレストヒルズの森」▶



「人間性の尊重」では、社員個人が最大限活躍できる環境を整え、社員それぞれの個性や強みを伸ばし、会社が社員の自己実現の場であることを目指しています。自然豊かな本社敷地内には、各種スポーツ施設や独身寮があり、仕事だけでなくプライベートも充実できる環境になっています。個人の目標実現を最大限、会社がサポートし、若手社員も積極的に社内ベンチャーやグローバルビジネスに挑戦しています。



電気計測を通じた「社会への貢献」以外にも、日置電機は**地域社会への貢献**も重要視しています。例えば、地域との交流を深めるため、2000年から本社を開放して「HIOKI祭り」を開催しています。社員自ら企画運営し、社員全員がホスト役となり、地域住民を歓迎しています。また、本社の野球場をホームとする少年野球チームを設立し支援しています。

鎌倉投信の視点

鎌倉投信では「共生」のテーマで日置電機に投資しました。企業理念の「人間性の尊重」と「社会への貢献」を軸に、顧客・地域・社員と高い信頼関係を築いていることを高く評価しています。これまで築き上げてきたステークホルダーとの強固な関係資本が同社の価値創造の源泉になっています。電気計測のフロントランナーとして、電動化社会の進展をリードし、その先の持続可能な社会の発展に貢献し続けることを期待しています。



日置電機 株式会社

電子測定器、現場測定器など電気計測器メーカー。1935年創業。
本社は長野県上田市。東証プライム上場。

<https://www.hioki.co.jp/jp/>



代表取締役社長
岡澤 尊宏 氏

マイファームの TOKYO PRO Market への上場について

2023年11月6日に、「結い2101」の投資先である株式会社マイファームから、TOKYO PRO Market への上場承認のお知らせが発表され、11月27日に正式に上場しました。「結い2101」では、非上場会社であったマイファームへ2015年から社債を通じて投資しています。過去には、受益者総会[®]や経営者講演[®]で西辻社長に登壇いただいたり、同社の貸し農園を体験するいい会社訪問[®]を開催したこともあり、受益者の皆様の中には、同社の活動を応援している方も多いかと思えます。この記事では、あらためて同社の魅力や「結い2101」からの投資の背景を紹介するとともに、今後の投資方針についてお伝えします。

TOKYO PRO Market とは？

東京証券取引所（東証）が運営する株式市場の1つで、2009年に開設されました。大きな特徴は、“プロ向け”の株式市場であることです。TOKYO PRO Market は、参加する（株を買う）ことができる投資家を、株式投資の知識や経験が豊富なプロ投資家（＝特定投資家）に限定しています。プロ投資家しか参加できないようにすることで、多くの人々が参加する一般市場よりも柔軟な上場基準（制度設計）が可能となっています。

01 「自産自消ができる社会」を目指す、いい会社

マイファームは自分たちが作った農産物を自分たちで消費するような「自産自消ができる社会」創りを目標にして、耕作放棄地を利用した体験型農園の運営や農業学校、野菜販売をおこなっている会社です。農業に関わる人を増やすことで、耕作放棄地の減少や、農業に対する楽しさや大変さ、食べることへの理解などを深めることを目指しています。鎌倉投信は、「共生」の評価のなかでも、食料自給率改善という点で特に評価をしています。手軽な農業体験によって農業に関心のある人を増やすだけでなく、さらに強く農業をやりたい人を教育し、販売までサポートする独自のシステムは、幅広い人に農業に挑戦する機会を与える素晴らしい取り組みです。



◀ 詳細はこちら
投資先の「いい会社」
株式会社マイファーム

02 非上場会社への投資について

「いい会社」は、上場、非上場関係ないというのが、鎌倉投信の基本的な考え方です。しかし、「結い2101」では、時価評価などの透明性や流動性（毎営業日、申込み・解約ができる）が求められる公募投信という性格上、非上場株式を日々時価で評価することが困難なため、社会的に意義のある活動をしている非上場の会社に対しては、株式投資の代替として事業債（社債）への投資をおこなってきました。なお、一般的に非上場会社は上場会社に比べ信用リスクが高いため、「結い2101」では、社債投資の上限を純資産総額の5%以内と定め、限られたリスクの範囲内で投資をしています。今回のマイファームのTOKYO PRO Market への上場を受け、「結い2101」の投資先のうち非上場会社は4社 [マザーハウス、JEPLAN（旧：日本環境設計）、IKEUCHI ORGANIC、トビムシ] となりました。

03 今後のマイファームへの投資方針

「結い2101」での社債への投資は、その会社が上場していないなど、株式を取得できない理由がある場合としてきました。今回のマイファームの株式上場を受け、同社への投資方針を協議した結果、株式での投資を見送り、社債を継続保有することとしました。理由は、上場に際し、同社が新株の発行や売出を実施しないこと、また、TOKYO PRO Market 市場の取引高が乏しく、上場後の株式買付けが困難と判断したためです。引き続き、社債を保有することでマイファームを応援していくという考えに変わりはありません。また、今後同社がプライム市場など本則市場への移行を目指していく場合には、あらためて株式での投資を検討していく考えです。

04 メッセージ



鎌倉投信 株式会社
取締役 資産運用部長
五十嵐 和人

鎌倉投信から皆様へ

TOKYO PRO Market 市場への上場、お喜び申し上げます。西辻社長から人生の目標のひとつとして「2023年中の株式上場」を聞いてはいましたが、まさか実現するとは！あらためて西辻社長の行動力と社員皆様のご努力に敬意を表します。ただ、株式上場はゴールではなくスタート地点です。「自産自消」が当たり前の社会になる」という大きな夢の実現に向けて突き進んで下さい。「結い2101」の受益者の皆様におかれましては、新たなステージで飛躍を期すマイファームを引き続き応援いただき、時に叱咤激励しながら、その成長を見守って欲しいと思います。運用者としては、マイファームの上場に近所の野球少年がプロ野球選手の道を進むみ、速くの存在になっていくような寂しさを感じます。しかし、僕らのマイファームがみんなのマイファームとなり、世の中がよりよくなっていくことを実感できたら、それこそ運用者冥利に尽きます！



株式会社 マイファーム
代表取締役
西辻一真さん

マイファームから受益者の皆様へ

この度、2023年11月27日をもってTOKYO PRO Market へ上場いたしました。「結い2101」の受益者の皆さまには、上場以前から「結い2101」の中で多くの応援をいただき、やっとひとつの恩返しのできたのではないかと思います。誠にご支援ありがとうございます。私たちは、創業期から「自産自消のできる社会を創る」という理念のもと自然と人の距離が近くなる事業を展開してきました。次の展開として「社会的に信用される会社であること」「資金調達を柔軟に行うこと」が必要であると判断し、上場いたしました。今後も変わらぬ思いで、さらに「自産自消のできる社会」を創って参ります。これからも皆さま、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

マイファーム TOKYO PRO Market 上場記念 「いい会社」の経営者講演

マイファームの西辻社長をお招きして、ご講演いただきます。マイファームの創業の想いとこれまでの道のり、これからの展望についてお話しいただきます。当日は、鎌倉投信社長の鎌田とのトークセッション、受益者の皆様との対話の時間も設ける予定です。ぜひ、ご参加ください。

日時：2024年2月3日（土）
講演会 13:00-15:00
交流会 15:00-16:00（任意参加です。お菓子や飲み物を用意します）

会場：FinGATE KAYABA
住所：東京都中央区日本橋茅場町1-8-1
茅場町一丁目平和ビル 1階
定員：100名（先着順）
対象：「結い2101」の受益者とそのご家族様

申込が開始になりましたら、HPのお知らせや公式LINEでご案内します！
LINEのお友達登録はこちら▶



「結い2101」運用報告会 一問一答 & 動画公開のご案内

2023年11月4日から計5回にわたり「結い2101」運用報告会を開催しました。オンラインでの開催に加え、会場（東京、大阪、福岡）でも開催し、約450名のお申込をいただきました。参加いただいた皆様、ありがとうございました。

一問一答！～2023年秋の運用報告会でいただいた質問にお答えします！～

質疑応答では、時間の都合ですべての質問にお答えすることができない会もありましたが、いただいた質問へ誠心誠意お答えしたいとのファンドマネージャーの想いから、事前にお寄せいただいた質問とすべての当日の質問への回答を記事にしました。より投資信託「結い2101」への理解が深まれば幸いです。ぜひご覧ください！

一問一答は
こちら



開催当日の様子

— オンライン開催 —



— 東京開催 —



動画公開

オンライン開催の収録動画を受益者限定で公開しています。都合が悪く参加できなかった方も、もう一度見返したい方も、ぜひ視聴ください！オンラインサービス「My鎌倉倶楽部」にログイン後、限定動画よりご覧ください。

My鎌倉倶楽部は
こちら



Notice

第15回

「結い2101」受益者総会®開催について

2024年に開催する「結い2101」受益者総会®の開催日・会場についてお知らせします。今から来年のスケジュールを押さえていただけますと嬉しいです。

受益者総会®とは受益者の皆様に、「結い2101」の決算、運用状況をよりよくお伝えするため、さらには、受益者、投資先企業、運用者が結ばれる場として、鎌倉投信が独自に、原則として年に一度、決算後に定期開催するものです。

日程：2024年9月14日（土）

時間：未定

会場：国立京都国際会館 ニューホール

住所：京都市左京区岩倉大鷲町422番地

オンライン配信：未定

「結い2101」運用報告 資産形成

November 11月

2023年11月の日本株式市場

11月の日本株市場は上昇しました。上旬は、米連邦公開市場委員会（FOMC）での政策金利据え置きや、就業者数が市場予想を下回ったことなどによる米長期金利の低下を背景に米国株が上昇し、日本株も連れ高となりました。中旬は、米消費者物価指数（CPI）が市場予想を下回り米長期金利が大幅に低下したことや、中国の経済指標の回復を受け上昇幅が拡大しました。下旬は、イスラム組織ハマスとイスラエル軍の戦闘休戦から中東の地政学リスクが一時的に後退しましたが、円高ドル安の進行が重しとなり、月末にかけて一進一退の展開となりました。TOPIX（東証株価指数）は前月末比で5.4%、TOPIX Small（小型株指数）は同4.2%それぞれ上昇しました。業種別では、精密機器、電気機器、サービス業などが上昇した一方、パルプ・紙、鉱業、銀行業などが下落しました。

2023年11月の「結い2101」

「結い2101」の11月末の基準価額は前月末比で1.4%上昇し、20,617円となりました。北米子会社の不振から通期業績予想の下方修正を発表した「ナカニシ」や、新サービスの受注計画が遅れている「アマタホールディングス」等が下落した一方、為替レート前提を円安方向に見直したことなどから通期業績予想の上方修正を発表した「堀場製作所」や、前月までの株価下落により指標面の割安感が意識された「KOA」等が上昇しました。投資先数は、新規組入をおこなわなかったことから、前月末と変わらず72社です。株式組入比率は、投資先企業の株価上昇により前月末から小幅に上昇し、54.4%となりました。債券組入比率は、前月末と変わらず2.0%です。



長田 陽平

資産運用部

ファンドマネージャー

2013年総合リース会社に入社。資金調達や決算業務を経験した後、プロジェクトファイナンス等のフロント業務に携わる。2020年10月に鎌倉投信に入社。東京生まれ、千葉育ち。

「結い 2101」運用状況（月次） 基準日：2023年11月末日

運用方針

「結い 2101」は、投資家の長期的な資産形成と社会の持続的発展に貢献するために、信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、国内を中心に、社会との調和の上に発展する次のような企業の株式に投資することにより運用をおこなうことを基本とします。

これからの日本に必要とされる企業

顧客・消費者、社員とその家族、取引先、地域、自然・環境、株主等を大切に、持続的で豊かな社会を醸成できる企業

このような企業を投資先の「いい会社」として選定するため、次のように「人・共生・匠」というテーマで評価しています。



優れた企業文化を持ち、人財を活かす企業



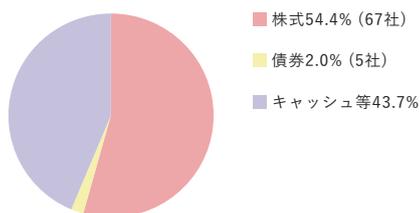
循環型社会を創る企業



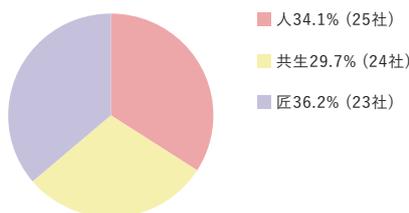
日本の匠な技術、感動的なサービスを提供する企業

信託財産の状況（比率は時価ベース）

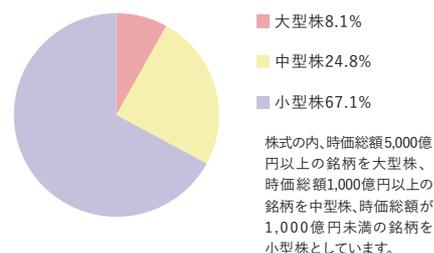
ポートフォリオの資産構成比



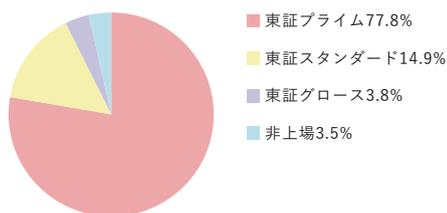
投資先のテーマ別構成比



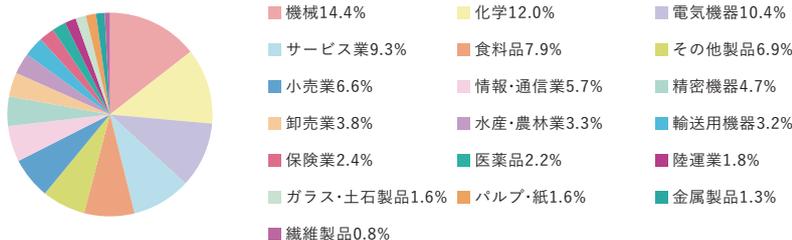
株式の規模別構成比



有価証券の市場別構成比



投資先の業種別構成比



開示基準に達した新規投資銘柄の開示（2023年11月末日時点） 現在、未開示の投資先はありません。

投資先企業上位10社

コード	会社名	テーマ	純資産総額比	鎌倉投信の視点
6999	K O A	共生	1.3%	地球のことを真剣に考える、いい会社
4540	ツムラ	人	1.2%	人を大切にする、いい会社
4471	三洋化成工業	匠	1.2%	多様な社員が技術力を磨く、いい会社
3176	三洋貿易	人	1.2%	自由闊達な社風のもと、顧客の最適解を提供する、いい会社
2659	サンエー	共生	1.2%	沖縄の地で独自性を発揮する、いい会社
6823	リオン	匠	1.1%	聴こえの不自由な人へ音を届ける、いい会社
6455	モリタホールディングス	匠	1.1%	消防技術で安全な社会づくりに貢献する、いい会社
7856	萩原工業	人	1.1%	社員の雇用と生活を第一に考え、人を大切にする、いい会社
6278	ユニオンツール	匠	1.1%	髪の毛よりも細いドリルを創る技術力の、いい会社
7447	ナガイレーベン	共生	1.0%	医療従事者・地域とともに歩む、いい会社



投資先の「いい会社」



各「いい会社」への投資理由等は、鎌倉投信のホームページで紹介しています。『鎌倉投信 いい会社』で検索！是非ご覧ください♪



等金額投資をしているため基本的に投資先の構成比は同一ですが、時価変動等により基準構成比を大きく上回っていないかを確認するための参考として組入上位10社を表示しています。

概況

基準価額 20,617円

純資産総額 48,714百万円

顧客数 22,079人

基準価額とは、投資信託の純資産総額を総口数で割ったもので、1万口あたりの時価（評価額）で表示します。基準価額は主に、組み入れ有価証券等の価格の上下動によって変動します。

純資産総額とは、投資信託の信託財産を時価で評価した資産総額から負債総額を控除した金額のことです。この純資産総額は主に、①皆様の設定解約と②組み入れ会社の株価等の上下動によって変動します。

うち「積立購入」を選択されている顧客数11,129人

※純資産総額の百万円未満は切り捨てて表示しています。

運用パフォーマンス

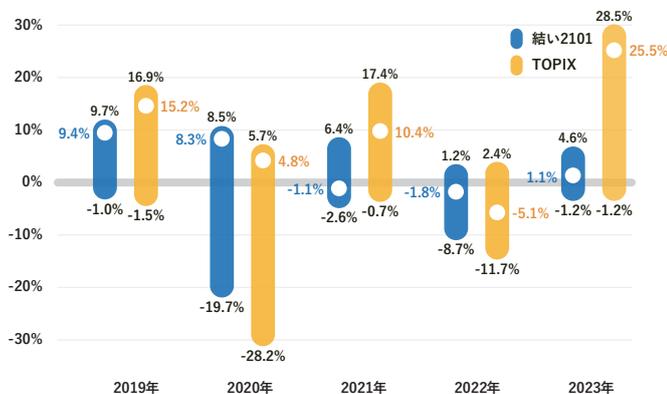
運用成績 ※1

	設定来	10年	5年	3年	1年	1ヵ月
リターン (期間率)	113.7%	48.7%	8.3%	-0.4%	-1.1%	1.4%
			10年	5年	結い 2101の目標 (信託報酬控除後)	
年率換算リターン (A)			4.0%	1.6%	4%以上	
年率換算リスク (B)			8.2%	9.2%	10%以内	
シャープレシオ (A)÷(B)			0.50	0.17	0.4以上	

基準価額の推移 ※2



各年の収益率 ※3



収益分配金の実績 ※4

収益分配金とは、ファンド決算の際に、運用を通じて得た収益の一部をお客様に分配するものです。分配をおこなった場合は、決算日の基準価額が1万口あたり分配金額だけ下がります。「結い 2101」は自動的に分配金相当額を分配後の基準価額で再投資する仕組み(分配再投資専用)になっています。

第4期	2013年7月19日	500円
	...	
第12期	2021年7月19日	0円
第13期	2022年7月19日	0円
第14期	2023年7月19日	0円

設定来合計 500円

設定日：2010年3月29日	信託期間：無期限	決算日：毎年7月19日(休業日の場合は翌営業日)
----------------	----------	--------------------------

※1 運用成績について

- リターン・リスクは、支払済み収益分配金(税引前)を再投資した場合の分配金込の数値です。実際の個別のお客様の収益率とは異なります。
- 年率換算リターンとは、直近5年間または10年間の収益分配金込基準価額の騰落率を年率換算で表示したものです。
- 年率換算リスクとは、直近5年間または10年間の収益分配金込基準価額の月次騰落率の1標準偏差を年率換算で表示したものです。
- シャープレシオとは、年率換算リターンの値を年率換算リスクの値で除したものです。リスク1単位あたりのリターンの大きさを表し、一般的に、運用の効率性を測ることができるといわれています。
- 「結い 2101」の目標リターンは、あくまでも目標であり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。

※2 基準価額の推移について

- 「基準価額の推移」や「収益分配金込基準価額の推移」は、「結い 2101」の信託報酬率1.10%(年率・税込)を控除後のものです。
- 「基準価額の推移」や「収益分配金込基準価額の推移」は、過去の実績を示したものであり、将来の成果を保証するものではありません。
- 「収益分配金込基準価額」とは、収益分配を実施しなかった(=収益分配金を非課税で口数を増やさず再投資した)ものとして計算した基準価額に相当する値で、当社が算出しています。

※3 各年の収益率について

- 「結い 2101」はTOPIX等をベンチマークとした運用ではありませんが、国内株式市場との連動性の程度を確認するため、参考としてTOPIX指数の収益率を掲載しています。
- 青色の棒グラフは、各年内の基準価額の最大値(年初来高値、日次ベース)、最小値(年初来安値、日次ベース)、および各年末の基準価額を、各前年末の基準価額と比較した場合の収益率を表しています。
- 黄色の棒グラフは、各年内のTOPIXの最大値(年初来高値、日次ベース)、最小値(年初来安値、日次ベース)、および各年末のTOPIXを、各前年末のTOPIXと比較した場合の収益率を表しています。

※4 収益分配金の実績について

- 分配金額は1万口あたりの金額です。
- 分配金は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。

2024年から始まる新NISAのお手続きについて

2024年1月より、新しいNISA制度が始まります。2023年12月末時点で、「**一般NISA**」または「**つみたてNISA**」口座を開設しているお客様は、**2024年に自動的に新NISA口座が開設され、新制度の「つみたて投資枠」と「成長投資枠」が使えるようになります。**なお、新たにNISA口座の開設を希望される方は、オンラインサービス「**My 鎌倉倶楽部**」または問合せフォームから「**NISA口座申込書**」をご請求ください。

新NISA制度の詳細は、特設ページからご確認ください。



01/積立サービスについて

2023年にNISA口座を利用した積立サービスは、**現契約内容をそのまま新NISAへ引継ぎます**

2023年まで	自動移行	2024年から
一般NISA (年間投資枠120万円)	⇒	成長投資枠 (年間投資枠240万円)
つみたてNISA (年間投資枠40万円)	⇒	つみたて投資枠 (年間投資枠120万円)

2023年11月引落分が、現行NISA制度の非課税投資枠を使用する最終購入取引です。年間投資枠の拡大を受け、毎月購入額の増額等をする場合は、2023年12月引落分から変更適用になるよう手続きください。

■2023年12月引落分の各種変更手続受付期日

- ・書面: **12月8日**(当社受領日)
- ・オンラインサービス「**My 鎌倉倶楽部**」: **12月10日**(依頼日)

つみたて投資枠と成長投資枠、それぞれで積立サービスの利用が可能です

2024年以降、新NISA口座を開設しているお客様は、**つみたて投資枠・成長投資枠それぞれで積立サービスの利用が可能です。**

- ・毎月購入額等は投資枠ごとに設定いただけますが、引落口座は投資枠ごとの設定はできず、同一口座からの引落となります。
- ・つみたて投資枠での積立は、年間積立額が120万円の年間投資枠以内に収まるよう設定ください。
- ・成長投資枠での積立は、年間積立額の上限はありません。
- ・成長投資枠でのスポット購入と成長投資枠での積立購入の累計が、240万円の年間投資枠を超過する場合、超過分は課税口座で購入します。
- ・課税口座での積立サービスを利用中の方が新NISA口座を開設する場合、課税口座での同サービスは利用を中止させていただきます。購入先投資枠をご指定の上、あらためて同サービスの利用を申込ください。

02/スポット購入について

2023年12月28日以降の購入申込は、**受渡日が2024年1月以降になりますので、新NISA口座が開設されている方は「成長投資枠」での取引となります。**

年末年始の休業とお取引について

休業日

2023年
12月30日(土)
↓
2024年
1月3日(水)

お取引

2023年内に受渡となる
購入申込

2023年**12月27日(水) 15:00**までの着金分※
>当該取引の受渡日(残高反映日)・・・2023年**12月29日(金)**

2023年内に受渡となる
解約(換金)請求

2023年**12月25日(月) 15:00**まで
>当該取引の受渡日(お客様への振込日)・・・2023年**12月29日(金)**

※一般NISAを開設している方は、2023年(現行制度)の非課税投資枠を使用します。

「積立サービス」取引スケジュール

金額変更・中止締切日※1	引落日※2	入金日※3	約定日※4	受渡日※5
12月8日	12月27日	1月9日	1月10日	1月11日

※1 毎月10日(休日の場合は前営業日): この日に受付した分までが当月引落より適用されます。締切日を過ぎますと、当月の引落および引落資金での投資信託購入がおこなわれず、解約(換金)を希望される方は、受渡日以後に残高の解約(換金)をしてください。

※2 毎月27日(休日の場合は翌営業日): お客様が指定した金融機関の口座から購入額を引き落とします。

※3 引落日の5営業日後: 収納代行会社を通して購入額が当社に入金されます。

※4 引落日の6営業日後: この日の基準価格で購入します。

※5 引落日の7営業日後: この日に取引報告書を交付します。

本資料は、鎌倉投信によって作成された、投資家向けの情報提供を目的としたもので、投資信託販売用資料ではありません。

<資産運用に関する注意事項>

投資信託のお申し込みの際には、以下の点をご理解いただき、投資の判断はお客様ご自身の責任においてなさいますようお願いいたします。

◆投資信託は預金または保険契約ではないため、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護対象にはなりません。

また、「**結い2101**」は、投資者保護基金の保護対象でもありません。

◆投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。

◆本資料に記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。

また、いずれも将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。

◆本資料に記載の内容は、将来の運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。

また、本資料は、鎌倉投信が信用に足ると判断した情報・データに基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

◆本資料の利用権は、鎌倉投信に帰属します。

◆「**結い2101**」をご購入の際は、投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面および金融サービスの提供に関する法律に基づく重要事項の説明等の重要事項説明書を

あらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ずお受け取りの上、内容をよくお読みください。

◆「**結い2101**」の投資信託説明書(交付目論見書)については、鎌倉投信までお問い合わせください。

<苦情処理措置および紛争解決措置について>

鎌倉投信は加入協会から苦情の解決および紛争の解決のあっせん等の委託を受けた特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

(連絡先: 0120-64-5005) を利用することにより金融商品取引業等業務関連の苦情および紛争の解決を図ります。

鎌倉投信株式会社: 金融商品取引業者 登録番号 関東財務局長(金商)第2293号

加入協会: 一般社団法人 投資信託協会 一般社団法人 日本投資顧問業協会 一般社団法人 第二種金融商品取引業協会